

「あるサラリーマン・コレクションの軌跡

～戦後日本美術の場所～」展図録

正誤表 Ver 1 - 2

- p.17 コレクターコメント 6行目 桐弘四郎氏→桐弘史郎氏
p.110 制作年 1979(昭和54)年→1976(昭和51)年
p.114 サイズ 12.0×30.0→30.0×12.0
p.215 18行目 1979(昭和54)年→1976(昭和51)年
p.215 22行目 12.0×30.0→30.0×12.0

作家解説 追加

三島喜美代 みしま きみよ

1932年大阪に生まれる。50年代はじめアンフォルメルの影響を受け、雑誌や新聞紙を画面に切り貼りした平面作品で注目をあつめる。71年頃より陶にシルクスクリーンの手法を用いて雑誌や新聞の紙面を転写する表現にとり組みはじめる。新聞に始まり、ダンボールのパッケージ、チラシや広告塔、マンガ本など大量印刷されては一時に消費され消滅するものを、焼成という過程を通して、やきものという永続性の高い物体の内に封じ込めようとする表現のサイクルは、現代における情報の鎮魂の様相をも帯びて見える。個展やグループ展、展覧会出品多数。大阪に在住し岐阜県土岐市で制作を続けている。(F)